

1. 件名：東海再処理施設の安全対策に係る廃止措置計画変更認可申請に係る面談
2. 日時：令和2年11月12日(木)13時30分～15時50分
3. 場所：原子力規制庁10階会議室 ※一部出席者はTV会議にて実施
4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 審査グループ 研究炉等審査部門

細野企画調査官、田中主任安全審査官、有吉上席安全審査官、小舞管理官補佐、
佐々木技術参与

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

安全・核セキュリティ統括部 安全・核セキュリティ推進室 主査
再処理廃止措置技術開発センター 副センター長 他12名

5. 要旨

○原子力機構から、資料に基づき東海再処理施設の安全対策に係る廃止措置計画変更認可申請について説明があった。

○原子力規制庁より、以下の通りコメントを伝えた。

(資料2について)

- ・申請に係る対応の整理の資料については、事故対処の制圧条件や貯槽の放熱を考慮した評価など、事故対処の有効性評価において検討すべき事項も明確にすること。
- ・これまでの審査会合等においてもコメントしているところであるが、今後の事故対処手順の整備においては、各手順に移行する際の判断基準を具体的かつ定量的に明確化して、速やかに判断が実施できるように準備しておくこと。

(その他について)

- ・246 ページの水素濃度4%到達時間について、設計G値を使用した場合の到達時間(1.9日)と実測した水素発生濃度を使用した場合の到達時間(3000日)が大きく異なる理由を説明すること。

○原子力機構より、了承した旨返答があった。

6. 配付資料

資料1：東海再処理施設の廃止措置段階における安全対策のスケジュールについて

資料2：事故対処の有効性評価について

資料3：分離精製工場(MP)等の津波防護に関する対応について

資料4：処理施設における代表漂流物の妥当性の検証について

資料5：海再処理施設の安全対策に係る面談スケジュール(案)について